

# てんびんガイドだより



近江八幡観光ボランティア  
ガイド協会 広報部  
TEL 0748-33-6061  
FAX 0748-32-4125  
近江八幡北口観光案内所  
HP:<http://www.omi8guide.com>

## 今年は9名の受講生を迎えて開催

### ～第3回目の「ガイド養成講座」が始まる～

長い梅雨があけた8月1日、「2020年度ガイド養成講座」が開講されました。今年で3回目となります。本講座は、2018年に下記の事情から、協会員の増員を図る目的で始めました。

- ① ふるさと観光塾からの入会者が少なくなって、年2回の入会機会を持ちたいこと
- ② 通常ガイド以外の支援要請が多くなっていること
- ③ 高齢化を含めて円滑な新陳代謝に対応していくこと

毎年、ガイド業務の比較的余裕のある夏に開催されています。2018年度は、5名の申し込みがあり、3名が受講され、2名が入会されました。2019年度は、6名の申し込みがあり、5名が受講され、4名（うち1名は安土支部）が入会され、活躍されています。

今年度は、10代の方から70代後半の方まで、年齢層も幅広く、9名と多くの受講申し込みがありました。ここ2～3年、協会員が減少傾向にある中で嬉しいことです。8月1日の「オリエンテーション」から、8日の「実ガイド研修」そして22日の「トライアル研修」へと進んでいきます。9名の皆さんが講座を修了され、協会員となり、秋以降の繁忙期に力強い戦力となることを期待しています。

参加された方々に応募の動機を聞いてみました。どなたも近江八幡が好きな方ばかりでした。

- ・「知人の勧めもあり、定年退職後の暇に何かしようと。」
- ・「3月に退職。観光に関する仕事をしたいと思っており、これに少しでも役立てればと。」
- ・「地元生まれ、地元で育ちました。地元のためにガイドで貢献できればと。」
- ・「商社勤めが終わり、奥さんに家でだらだらすると言われてた。」
- ・「この半年は、オンライン授業ばかり。大学のサークルでも観光ガイドのことをしていたので、これを機に。」
- ・「25年間、近江に住んでいるが、近江の魅力を知らなかった。これを友人に紹介したい。」
- ・「定年となったが、週2日は働いている。地元育ちで、観光にきた方に八幡を紹介したい。」
- ・「滋賀に40数年住んでいるが、自然と歴史をさらに学びたく応募。里山の遊歩道の整備にも関わっている。」

本日の講座においても、多くの質問が出され、皆さんの熱意を感じました。

8月1日 広報部記



白雲館にて「オリエンテーション」の様子